

みんなで子育て No. 10

今回は、企業内家庭教育研修の特集号になります。企業内家庭教育研修は、普段、**幼稚園や保育所、小中学校で行われている家庭教育学級に参加することが難しい保護者のために、企業や事業所が行う研修の1つとして開催していただくものです。**日本において、これまでに多く見られた「仕事優先」の働き方から「仕事も生活も大切に」ワーク・ライフ・バランスを意識した取り組みの1つとしても活用してもらえる研修になると考えます。**企業・事業所が希望されたテーマに合う講師を紹介し、研修を行います。講師料は県が負担します。**（交通費のみ、企業・事業所負担）

企業内家庭教育研修 「巴産業株式会社」 10月27日

地元の小中学校への学習支援等にも積極的に協力している巴産業様が、県が推進する本事業の願いに賛同し、社内研修の1つとして今年度位置付けていただきました。**16時より1時間ほどの研修**に、社長様をはじめ21名の方に参加いただきました。「子育てで大切にしたいこと！」と題し、家庭教育推進専門職（辻）がお話させていただきました。参加者の半数が20歳代と若く、未婚の従業員が多い職場でしたが、皆さんとても真剣に耳を傾けてくださいました。

まず、家が**子どもたちにとって、安心して過ごせる空間**であることが第一であるため、**家庭内に笑顔や笑いがある**ことが大切であり、**優しく温かさが感じられる言葉かけがある**ことで、子どもたちに生きていく力が生まれることをお話ししました。自己肯定感が他国に比べ低い日本の子どもたち。「自分が大事にされている。大切に思われている。」ことが伝わるように、**一緒に遊んだり、作業したりすることなどを通して、褒めたりハグしたりすることが大切**であることをお伝えしました。また、**今年の10月より改正になった「育児・介護休業法」の変更点**についても簡単に説明させていただきました。



子育てをする上で大切なこと9つ

- ・子供の自己肯定感を高める
- ・甘えさせる
- ・スキンシップを行う
- ・些細なことでも褒めてあげる
- ・子供の気持ちを否定しない
- ・挨拶を大切にする
- ・自立できるように支えてあげる
- ・習慣づける
- ・コミュニケーション力をつける

保護者



親

完全保護

から

援助

HELP

から

SUPPORT

参加者の感想

3歳の子がいて、子どもにとってどんなことが良いことで、どのようなことが悪いことなのかが分かりました。今後、小学校、中学校に行くようになる際に、何をすれば良いのかということが、よく分かりました。

人の成長は、一桁代の歳で大きく差が生まれるのだと理解ができて良かったです。まだ子どもはいませんが、将来に活かしたいです。

今まで行った子育てについて、いろいろ考えさせられました。

小さい子どもの育児の仕方について、学ぶことができたので、実際に自分に子どもができた時、たくさんのことを経験させて、たくさん子どもと関わる育児をしていきたいです。

子どもとのつきあい方等、とても勉強になりました。現在、高校生になっている為、もう少し早くこういう機会があればよかったのと思いました。

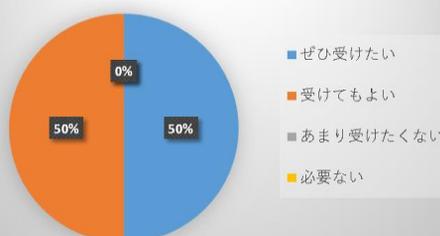
将来、家庭をもった時に、今日聞いた話を参考にして子育てしていきたい。

子どもへの接し方を深く学ぶことができた。結婚し、子どもができた際にもう1度聞き、子育てに生かしたい。

研修テーマと内容について



企業で家庭教育関係の研修があれば





浅野税理士事務所は北方町にある所員8名の事業所です。今年度初めて企業内家庭教育研修を実施していただきました。災害発生時の対策と準備に不安があるとのことでしたので、この課題を克服するための講師をご紹介します研修を行いました。

講師：清流の国ぎふ防災・減災センター コーディネーター
伊藤 三枝子 氏 (13:30~14:30)

最優先は、自分の命を守ること！

ハザードマップを掲示し その場所の危険度を把握する！
《地震》

物が動いてこない、倒れてこない、落ちてこない場所の確保(1人1畳分のスペース)。家具や電化製品の固定。自分では難しいければプロに依頼することも考えると良い。家具は背の低いものを選択し、上を軽く、下が重くなるように衣服を入れる。転倒防止ポールが天井を突き破る可能性があるため、コンパネなどを間に入れ、力を分散させる。ガラスはアクリルに交換。または、飛散防止フィルムを貼る！

《風水害》
とにかく早めの避難がポイント！ どの段階になったら避難するか、何を持ち出すかを前もって決めておく。ギリギリの避難は危険度が増し、見たくないものを目にすることで、精神的にトラウマになることもある。安全なうちに避難を終えること。

☆職員・家族の安否確認はグループラインを活用
LINEは、東日本大震災時に、大切な人との連絡がとりづらかった経験から、メッセージングアプリのニーズが高まり、始められたサービス。送信データ量を減らすため、短い合言葉等をあらかじめ決めておくことと良い。

☆災害用伝言ダイヤル「171」を活用する場合
あなたの名前は？ フルネームを伝える
いまいる場所は？ 具体的な場所を伝える
だれといっしょか？ 一緒に避難している人を伝える
いたいところは？ ケガの有無や体調具合を伝える
よこく 次の連絡の予定時刻等を伝える

☆離れた場所に親せきなどがいる場合は、そこを情報収集基地とし、各自の情報を連絡する。(被災地は電話がつながりにくくなるため)

食料・水の備蓄も大切だが、衛生状態を保つためにトイレ用の抗菌消臭凝固剤を必ず準備しておく。
避難所で気になるのは「音」と「臭い」！

参加者の感想 教えていただいたことを早速実践して、今後に備えたいと思いました。

大変勉強になりました。準備が足りない点が多くありましたので、早急に整えたいと思います。

災害に備えておくべきことが多々あると改めて感じました。「いつか」ではなく、今すぐに行動しようと思いました。

防災について、認識の甘さに気づかされました。食べること、飲むことばかり気にしていましたが、トイレのことなどその後の処分などを考えさせられました。

必要とは思っていても取り組めていないことでした。改めて必要性を感じました。

「研修テーマと内容」 参加者全員の評価が「大変よい」でした！

あの人の住んでいるところは大丈夫かな？
ぎふ山と川の危険個所マップ

ぎふ山と川の危険個所マップ
あなたの地域は安全ですか？危険な箇所を調べよう。
郵便番号を入力すると、その場所の危険度が地図上に色で示される

大切なこと 事務所も自宅も
命を守るために必要な対策を取る

自助は2種類

A:災害が起きる前:被害を減らし「命を守るため」

B:災害が起きた後:「生活を守るための備え」
(普段の生活に近づけるため)

被災後の生活維持(会社のBCP)は命があってこそです

生き延びるための備え 災害から命の守り方

うごかない

安全な場所を見つけて(作って)ください

たおれない

おちてこない

訓練の積み重ね

重要なこと

訓練を繰り返し実施し、手順を覚えること。

トップが自ら参加する姿勢も必要です。



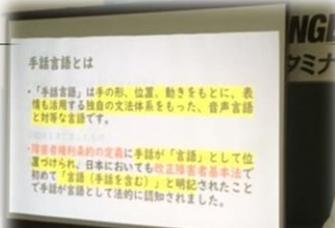
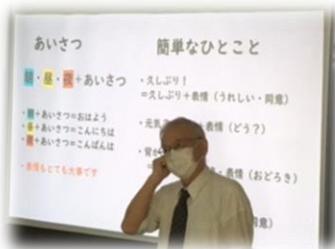
ヨツハシ株式会社は、皆さんもよくご存じの岐阜地区の生活情報誌「ぶらざ」を発行している印刷会社で、社長の四橋英児氏には、企業代表として岐阜県家庭教育推進委員を務めていただいています。本研修は、3年ぶり12回目の開催で、接触を伴わないコミュニケーションカアップのための研修を行いました。

講師：岐阜聖徳学園大学 教育学部教授
NPO法人大垣市レクリエーション協会会長
大垣手話サークル協議会会長
安田 和夫 氏 13:30 ~ 14:30



「ぶらざ」には子育てに関わる情報も掲載されていますよ！

今回、手話を使って相手と会話することを体験しましたが、**顔（今はマスクしているので目）やからだを使って豊かに表現することが大切であることを学びました。**手話でも同じことを小さな動きで表現する時と大きな動作で表現する時では、意味合いが変わります。相手が表情や動作など視覚を使って情報収集を行っていることを意識していると、伝える力がアップしそうです。後半には、安田先生が提示した「ワード（きいろ・かたい・ヨツハシ）」を数字や文字を使わず、絵を描いて相手に伝えるゲームを行いました。何の絵を描くかによって、課題の「ワード」を相手に気づかせるまでの時間が大きく異なりました。何かを子どもに伝えたい時、言葉ではなかなか伝わらないことでも絵を用いたり、動作を入れたりすることで伝わる場合があります。相手に合わせ、何を使ってどのように伝えるかを的確に判断できるようになると、コミュニケーションカアップするのかなと思いました。



参加者の感想

手話を通して、コミュニケーションの楽しさを知ることができました。家でも子どもに伝えたいです。

子どもと接するときにも、話題にできそうな内容だと思いました。

テレビドラマを見ている娘が手話を勉強し始めたところ。何でも新しいことを学ぶことは大切だと感じました。

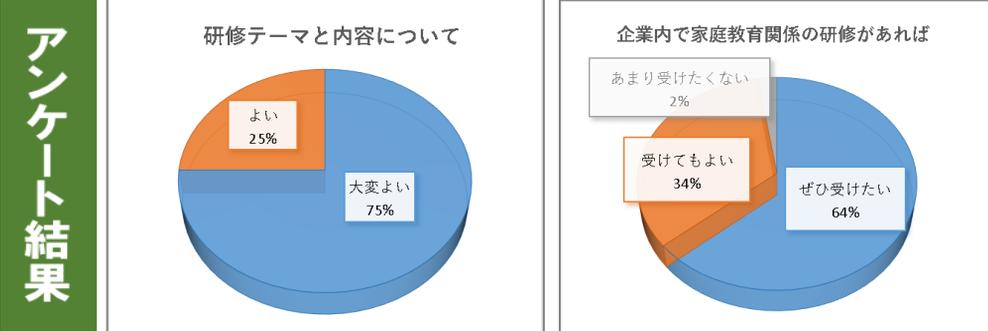
手話を使い、他部署の方とコミュニケーションがとれて良かったです。表情が大切だと思ったので、普段の会話でも表情を豊かにしようと思いました。

言語を使う良さもあれば、それを使わずに会話を楽しめたり、人とコミュニケーションをとることができる楽しさを味わえたのは勉強になりました。

普段触れる機会のない「手話」を学ぶことができてよかった。言葉を発せずとも楽しく会話できるのだと、新しい世界を感じられました。コミュニケーションの大切さを改めて感じる事が出来たので、良い時間だと思います。

手話の表現力の高さを知り、コミュニケーション能力のアップにつながる事が知れてよかった。

手話の知識は老若男女それほど差がないからこそ、平等・公平に年齢や性別の壁を越えて楽しむことができました。



講師：可茂県事務所 振興防災課
 家庭教育推進専門職 安田 早由里 氏
 演題 「子どもたちの健やかな育ちのために」
 ～ 私たちにできること ～

ジブラルタ生命保険会社は、リビングニーズ特約（余命6ヵ月と宣告された契約者が生きていうちに保険金を受け取れるシステム）と呼ばれる特約を世界で初めての作った生命保険会社です。家族の幸せを大切に社風があり、本事業の趣旨に賛同いただき、今回社内研修の1つに位置付けていただきました。県内に8つの支社があるため、**岐阜支社からのリモート研修として、各支社の方にも参加していただける形で実施しました。**



2022/11/11 10:30

「子は宝」という言葉がありますが、中学時代の国語の教科書に取り上げられていた「山上憶良」の歌に、親がわが子をどのような思いで育てているかを感じ、この詩が心に残っているとされる安田専門職の話から始まった本研修。

子どもの発達段階とその特徴を理解していると、子どもとの向き合い方も掴みやすいということで、乳幼児期から高校生までを5つの段階に分け、それぞれの段階で大切にしたいことを分かりやすく示されました。

子育てのポイントは、職場の先輩として後輩を育てる時にも活用できる要素が入っていたように感じます。

子どもたちは、皆ダイヤの原石。磨けば光る。磨くとは育むこと。情と温かさを共有すること。そして辛さも共有し、這い上がり方、責任の取り方を教える。

最後に「親」という字は、「木の上に立って見る」と書きますが、**子どもを広い視野で見守る存在であるべき**ことを示されました。親として、どうあるべきかということも多く学べた研修であったと思います。

銀も 金も 玉も 奈尔世武尔 麻佐礼留多可良 古尔斯迦米夜母

しるがゆくがゆ たま 奈に たから こ
 銀も金も玉も何せんに まされる宝 子にしかめやも

山上 憶良(万葉集より)



銀も金も珠も
 どうして子より優れた宝と言えるでしょうか。
 (子より優れた宝は無い)

人として生まれた 人 に成長させるためには

教(おしえ) 育(そだてる)
 育くむ(はぐくむ)

- 親鳥がヒナを羽でおおい包んで育てる。
- 子をいつくしみ育てる。
- 保護し発展させる。

家庭は教育の原点 家庭教育の大切さがここにある！

成長の過程

「発達段階」
 「適切な指導・援助」
 「見通しをもつ」
自分の成長と照らし合わせて

知っていれば、慌てない。落ち着いて、子どもと向き合うことができ、よい関わりがもてる！
子育てが楽しい！



参加者の感想

やってはいけない事に当てはまる事が多々あり、ドキッとすることがありました。改めて子育てについて考える良い時間になりました。

子どもの成長時期に合わせて、「肌、手、目、心を離すな！」が印象に残った。自身の子どもはもう大きいので、もっと早く聞いていたら少しは接し方が変わったかもしれない。育み見守る事の大切さを理解できた。

セミナーを聞いて共感というか励まされた気がしました。今、子育てをしているこの時間が大事で成長のための土台。イライラすることがあっても心を広くしていこうと・・・。私の子どもは父親が亡くなってしまったけれど、いろんな人から愛されているから、これからも頑張ります。

子どもは夫婦の関係をよく見ており、人格形成に大きな影響を与えるということで、夫婦間で会話がなかったり、ケンカをしたりすることがあるので、今後は子どものためにも、妻と良好な関係を築いていきたいと感じました。

お客様と子どもの教育、教育資金について話すときにも役立つような内容で良かったです。自分自身も今後子育てをしていきますので、どの段階でどんな態度でやっていくと良いか参考になりました。

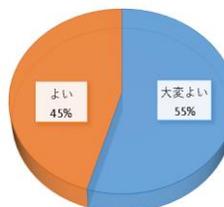
おや
親

木の上に
 立って見る

俯瞰(ふかん)する！

アンケート結果

研修テーマと内容について



企業内で家庭教育関連の研修があれば、ほとんどの方が「ぜひ受けたい」「受けてもよい」と答えてくださいますが、園や所・学校等が行っている家庭教育学級については「知らない」と答えられている方もみえます。開催の周知方法については、更なる工夫が必要かもしれません。

木育広場 「北方みなみ子ども館」 10月21日

北方町にある「北方みなみ子ども館」の古田館長さんと職員の松井さんは、岐阜県の木育指導員の資格を取得されており、県が貸し出している木製のおもちゃを利用して、**月2回の「木育広場」を開催**してみます。「まーるい積み木」は10種類の樹木からつくられており、色や重さ、硬さが異なり、積み木同士をぶつけた時の音にも違いがあります。**子どもたちにとっては、積む、崩す、ぶつける、落とすなど何をするのも遊び**であり、他の子がケガをすることが無ければ何でもOKだと館長さんが言われていました。**遊びながら、いろいろなことに気づくことが子どもにとっては大切な経験であり、学びである**ということですね。



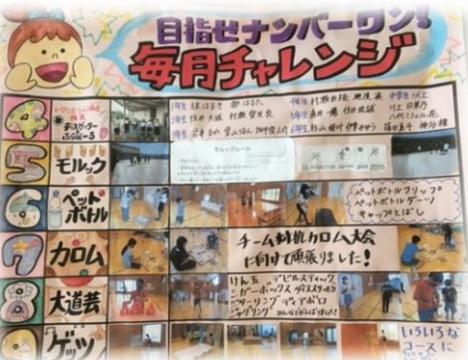
「木育広場」に参加すると、**発達ノートの手作り用キットが準備されており、保護者の方は子どもと一緒に好みの飾りを付けてこのノートを作成**します。その間に、松井さんが子どもの似顔絵を描いてくださるので、この日の記録の1頁を飾っていました。また、**広場に参加した時には、体重と身長を測り、成長記録表に記録できるように測定器が準備**してありました。

作業机の上には段ボールが敷かれ、接着剤などが付いても大丈夫なようにしてありますが、ここに絵を描くこともOKで、一生懸命にお絵描きをがんばっている子もいました。



「木育広場」開催時に、館長さんによる「**気まぐれ工房**」が並行して開かれることがあり、希望の保護者には左の木片を使ってバターナイフづくりにも挑戦してもらうのだそうです。手作りナイフ、とても素敵です！

みなみ子ども館の催しは、とてもバラエティーにとんでいて、毎月課題の遊びやゲームに挑戦する催しの記録が掲示してあります。**中学生や高校生も参加しており、子ども館（児童館）として理想的な役割を果たしています**。乳幼児期や小学生の時にここを利用した子どもたちが、中学生・高校生になっても子ども館を訪れ、地域の子どもの面倒も見たり、遊んだりしているそうです。**地域に根付いた施設として、青少年の育成にも寄与している**ことが素晴らしいと思います。



北方みなみ子ども館 10月号 ともだち

※第4期 10月発行 TEL / 058-322-2350

開館時間 午前9時～午後5時

お休みの日 10/10まで 午後5時 10/12から 午後4時30分

日	月	火	水	木	金	土	日	注
2	休	休	休	休	休	休	休	休
3	休	休	休	休	休	休	休	休
4	休	休	休	休	休	休	休	休
5	休	休	休	休	休	休	休	休
6	休	休	休	休	休	休	休	休
7	休	休	休	休	休	休	休	休
8	休	休	休	休	休	休	休	休
9	休	休	休	休	休	休	休	休
10	休	休	休	休	休	休	休	休
11	休	休	休	休	休	休	休	休
12	休	休	休	休	休	休	休	休
13	休	休	休	休	休	休	休	休
14	休	休	休	休	休	休	休	休
15	休	休	休	休	休	休	休	休
16	休	休	休	休	休	休	休	休
17	休	休	休	休	休	休	休	休
18	休	休	休	休	休	休	休	休
19	休	休	休	休	休	休	休	休
20	休	休	休	休	休	休	休	休
21	休	休	休	休	休	休	休	休
22	休	休	休	休	休	休	休	休
23	休	休	休	休	休	休	休	休
24	休	休	休	休	休	休	休	休
25	休	休	休	休	休	休	休	休
26	休	休	休	休	休	休	休	休
27	休	休	休	休	休	休	休	休
28	休	休	休	休	休	休	休	休
29	休	休	休	休	休	休	休	休
30	休	休	休	休	休	休	休	休
31	休	休	休	休	休	休	休	休

運動会

8日(土) ※第4期 10月10日(日) 11時45分
小学生の部 年輪10歳45分～11時45分
※参加費0円 ※芳野町在住児童 無料
観覧の方、おんまで楽しく観覧をお願いします

つくってあそぼう

11月 毛糸コースター作り
23日(日) 午後2時～
※参加費0円 ※第4期 20日
※参加費0円 ※芳野町在住児童
29日(土) 午後2時～ 北方町在住児童

けん玉検定

2日(日) 午後2時～
会場：若林児童館
グローバルけん玉の検定をします

親子運動会

16日(日) 午後10時30分
10日(日) 午後2時～
※芳野町在住児童

北方福祉フェスティバル

22日(日) 午前10時～午後1時30分 ※第4期 20日
会場：旧飯沼町立公民館 北方福祉センター
ついでに「つくってあそぼう」

みんなであそぼう

15日(土) 午後2時～ 30日(日) 午後2時～

子ども館の運営上や各事業の発展を図るため(仮称)する場合がありますのであらかじめご了承ください。

冬休みや新年のめあてづくりに合わせて 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を

残すところ、あと1か月で2022年も終わりですね。親子がともに過ごす時間が増える冬休みも近づいてきます。家族の絆を深めるための1つの手立てとして、まだ約束運動に取り組まれていない園や所、学校は、冬休みに「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を取り入れてください。

①約束を決めます！

家族みんなが気持ちよく生活できる約束を話し合って決めましょう。

大きな約束を家族で1つ決め、それぞれ個人の約束を決めてもいいですね。

②実践を記録します！

お互いに、一言声をかけ合えるといいですね。

- 「がんばっているね。」「気持ちがいいね。」「うれしいな。」「ありがとう。」「よかったね。」
- △ 「もっと、がんばろう」「明日は守ろうね」

③親子でメッセージを交換します！

約束に取り組んで、よかったことやできるようになったことを見つけて、伝え合いましょう。

話そう！ 語ろう！ わが家の約束

実践カード

このカードを使って
実践してみましょう！

年 組

名前



わが家の約束を
つくりましょう。

家庭教育を実践する日は
毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

月 日	/	/	/	/	/	/	/
曜 日							
約束を守りましたか？							

子どもから
家族へのメッセージ

取り組んだ感想や家族への
思いを書きましょう。

家族から
子どもへのメッセージ

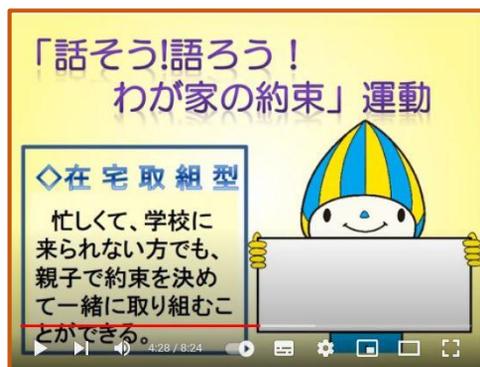
子どもへの励ましの言葉等
をお願いします。

＼学校で楽しかったことやがんばったことも家族に話しましょう。／

家庭教育学級動画資料が、岐阜県のHPにアップされています。

右の画像は、「思いを伝えいっしょにやりきろう・『語ろう！話そう！わが家の約束』運動」の啓発動画の一部です。

活動案内文の中に、この動画教材を紹介したり、視聴を促すなどしてご活用ください。



11月の下旬に、県下の各中学校には、本年度作成いたしました中学生用「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実践カード（右上図）が入った啓発チラシ（右下図）が届いているはずですので、是非、配付してご活用ください。